

# 九州―北陸間タイヤ輸送の海上シフトによる持続可能な物流構築

協議会名:九州―北陸間タイヤ輸送モーダルシフト推進協議会

協議会構成員  
近海郵船株式会社  
ブリヂストン物流株式会社

【事業実施背景】  
近年、トラックドライバー不足で長距離輸送の安定確保が困難となり、九州～北陸間のタイヤ輸送では輸送能力の逼迫が課題である。さらに、長距離陸上輸送への依存により、ドライバーの労働負担増加およびCO2排出量の増加といった構造的課題を抱えている。

## 事業内容

**Point** 海上輸送による輸送効率化により長距離トラック輸送を大幅削減。  
トレーラー導入による持続可能な輸送スキームの構築。



## 想定事業実施効果

・10tトラックに対し約2倍の積載能力を持つトレーラーへと切り替える事で輸送回数を削減。  
(現行:555回⇒モーダルシフト後:300回) (**54%削減**)

【ドライバー運転時間】  
26,640時間⇒1,105時間  
(**95.9%削減**)

【CO2排出量】  
524t⇒281.9t  
(**46.2%削減**)

・長距離陸送を海上輸送へ転換する事で、ドライバー負担**約96%削減**、CO2排出量**約46%削減**といった効果も見込む。

・本事業は、単なる輸送手段の変更ではなく、**長距離陸上輸送に依存した物流構造を、海上輸送主体の持続可能な体系へ転換**するものである。